

令和8年度 上武大学 大学院経営管理研究科 シラバス

講義番号	授業科目名	消費税法特論A		担当教員	宇津城 卓聡		
	英語授業科目名	consumption tax A		単 位	2	学 期	前期
対象年次	1・2年次	クラス指定		他との関連			
履修条件	なし						
テーマ・副題	消費税法の基本						
授業の教育目的・目標	消費税法に基礎理論と各論点にともなう実務における判断に迷う事例の確認						
授業の理解度の到達目標	消費税法の考え方を理解し、各個別事例を法律に則って判断できるようにすること						
授業キーワード	取引分類						
授業の内容	消費税法における課税の対象からはじまる法的考え方及び個別事例に対する適用について講義する。						
授業の方法	基本的に教員が作成するレジュメに沿って講義を行い、その後のディスカッションを通して内容の理解と定着に行う講義にしたい。						
授業展開	1. 消費税の仕組み 2. 課税の対象 3. 非課税取引と免税取引 4. 消費税額の控除・消費税の歴史 5. 課税標準と税率 6. 仕入税額控除の基礎 7. 仕入税額控除～個別対応方式・一括比例方式 8. 仕入税額控除～簡易課税方式			9. 仕入税額控除の特例と調整 10. 納税義務の原則と免除 11. 納税義務の免除の特例（相続と合併 編） 12. 納税義務の免除の特例（分割等 編） 13. 納税義務の免除の特例（法人新設編） 14. 輸出物品販売場・リバースチャージ等 15. まとめの演習			
成績評価方法	課題の発表内容（60%）および授業への取組み姿勢（40%）を評価要素とする。						
成績評価基準	総合点が80点以上をA, 79～70点をB, 69～60点をC, 59点以下をDとする。						
テキスト	自作レジュメ						
参考図書	① 大島 隆夫・木村 剛志 共著『消費税法の考え方・読み方 5訂版』（税務経理協会） ② 金井 恵美子 『プロフェッショナル 消費税の実務』（清文社）						
準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容	基本的には予習は不要。受講前にそれまでの振り返りをしてほしい。						
学生へのメッセージ	所得税や法人税とは全く異なる税額計算を行う消費税法は専門用語も多く、読みにくい法律です。しかし、一番身近な租税であり、理解を伴えば、イメージをしやすい税法だと思います。また、実務で一番使う税法でもありますので、この講義を通して消費税法の基礎をマスターし、慣例にとらわれず、しっかりと法的根拠を持って消費税法を使いこなせるようになってください。						
オフィスアワー	授業後の時間						
連絡先	電話番号	0274-42-2828		メールアドレス	utsugi@jobu.ac.jp		
人数制限	なし						